

## 「情報公開文書」

## 単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

## 前置癒着胎盤手術に際して行われる IVR (Interventional Radiology) に関する後方視的検討

### 1. 研究の対象

2017年1月1日から2022年12月31日までに東海大学医学部附属病院産婦人科で前置癒着胎盤と診断され、帝王切開術を受けた方

### 2. 研究目的・方法

目的：前置癒着胎盤の帝王切開時には、出血を減らすために血管造影により動脈を塞ぐ治療法（以下 IVR）が行われていますが、何を、いつ、どのような場合に用いるかに関しては確立した方法がありません。そこで、この研究では、術中出血量を減らすのに最適な IVR の使用方法に関する情報を得ることを目的とします。

方法：当院で前置癒着胎盤の診断を受け帝王切開を受けられた方について、研究者が診療情報をもとに患者さんの背景や臨床経過についての解析を行います。診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・診療情報等：年齢、既往歴、臨床経過、分娩時期、術中出血量、合併症、治療内容（IVR を含む）
- ・試料：なし

### 4. 情報の提供先・提供方法

特にありません。

### 5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

### 6. お問い合わせ先

東海大学医学部附属病院（電話：代表 0463-93-1121 内線：2380）

研究責任者 産婦人科 石本 人士 問い合わせ担当者 産婦人科 野口 美耶